


北茨城市(きたいばらきし)

	市章等 〒 319-1592 〈住所〉北茨城市磯原町磯原1630番地 〈TEL〉0293-43-1111 〈FAX〉0293-43-1108 〈HP〉http://www.city-kitaibaraki.jp 〈e-mail〉soumu@city.kitaibaraki.lg.jp	地域指定 辺地(一部区域) 特定農山村辺地(一部区域)	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村 村会館管理 税滞納整理 工業用水道 農業共済	公営企業 法適用(上水 工水 病院) 法非適用(公共下水道 漁業集落排水)
	類型 I-O 地方公共団体コード 082155 面積 186.55 km ²			

<行政組織>

①長等(平成23年5月1日現在)

長	とよだ みのる 豊田 稔 (66歳)	任期	平成23年6月17日
		就任回数	3期目
副市長	石田 奈緒子		

②議会(平成23年5月1日現在)

議長	村田 仁人	副議長	緑川 貞幹
任期	平成25年3月30日	条例定数	22人
		現議員数	19人
党派別	公明3人, 共産2人, 民主1人, 無所属13人		

③職員数(平成22年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
565	363	233	202
一般行政職の平均給料月額	3,384 百円	ラスパイレス指数 95.5	地域手当補正後ラス指数 95.5
全職員数の推移	平成19年4月1日	平成20年4月1日	平成21年4月1日
	640	614	587

④機構図(平成23年4月1日現在)

<市長>—<副市長>—
 市長 公室—秘書課, 人事課, 企画政策課, 新病院対策課
 総務部—総務課, 財政課, 税務課, 収納課
 市民福祉部—市民課, 保険年金課, 保健センター

福祉事務所—高齢福祉課, 社会福祉課
 環境産業部—農林水産課, 商工観光課, 生活環境課
 都市建設部—建設課, 都市計画課, 用地管理課, 下水道課
 <会計管理者>—会計課

<消防>
 <消防本部(消防長)>—総務課, 予防課, 指令室, 消防署
 <消防団>

<水道>—
 水道部—業務課, 施設課

<教育委員会>
 <教育長>—教育総務課, 学校教育課, 生涯学習課,
 小学校, 中学校, 学校給食センター, 海洋センター,
 図書館

<市立総合病院>—<病院長>—<経営企画室>
 <副院長>—事務部—総務課, 医事課, 新病院建設課
 —看護部, 医療技術部, 診療部
 —地域医療連携室, 医療安全監理室, 情報処理室

<議会>
 議会事務局

<行政委員会>
 選挙管理委員会事務局, 監査委員会事務局, 農業委員会事務局,
 公平委員会事務局, 固定資産評価審査委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年4月1日 合併 磯原町 華川村
昭和31年3月31日 市制施行 南中郷村 磯原町 関南村
大津町 平潟町 関本村
昭和31年3月31日 名称変更 北茨城市

②地勢・風土等

茨城県の北東端にあり, 首都東京まで約180kmの距離に位置する。茨城県天心記念五浦美術館や, 漁業歴史資料館「よう・そろー」, 中郷温泉「通りゃんせ」など, 自然と文化に触れ合える観光地として発展しつつある。

活力ある地方都市を目指し, 「市民が安心して住めるまち, 夢と希望のもてるまち」の実現に向け, 広域的・合理的な土地利用を進めながら, 安全な市民生活, 快適な生活環境の保持を図るとともに, 充実した市民福祉や優れた教育と豊かな文化を享受できるように, 調和のとれた開発を促進している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成23年4月1日)
	平成12年	平成17年	平成22年(速報値)	
人口	男	25,534	24,508	—
	女	26,059	25,137	—
	合計	51,593	49,645	47,026
世帯数	16,672	17,090	16,965	16,867

④有権者数(平成23年3月2日現在) ⑤高齢人口割合 (H23.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	19,693	20,327	40,020	

<産業・経済>

①生産・所得(平成20年度)

市町村内総生産	1,473 億円	就業者1人当り	7,342 千円
住民所得	1,166 億円	人口1人当り	2,437 千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(平成20年度)		就業人口(平成17年国調)	
第1次	2,905	2.0%	1,473	6.3%
第2次	69,958	47.5%	10,304	44.4%
第3次	77,352	52.5%	11,358	49.0%
総額・総数	147,335	—	23,200	—

③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家数	農業就業人口
	1,547	267	1,350
製造業 (平成21年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H21.1.1~12.31)
	165	6,238	184,401
卸・小売業 (平成19年6月1日)	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	493	2,736	44,329

④特産物

あんこう鍋, 天心焼, 自然薯, 花園牛, 雨情の里牛, どぶろく, 鮮魚, 干物, さつま揚げ, ひたち舞(コシヒカリ)

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成20年度決算	平成21年度決算	増減率
歳入	15,355,427	16,009,441	4.3
歳出	14,821,276	15,468,480	4.4
形式収支	534,151	540,961	-
実質収支	520,406	489,478	-
単年度収支	122,942	△ 30,928	-
実質単年度収支	935,476	246,163	-

②主な歳入・歳出(平成21年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	16,009	-	654	4.3
地方税	5,863	36.6	△ 402	△ 6.4
地方交付税	3,053	19.1	200	7.0
国庫支出金	2,291	14.3	1,068	87.3
地方債	1,333	8.3	396	42.3
うち臨財債	623	3.9	-	-
その他	3,469	21.7	-	-
うち繰入金	150	0.9	-	-
歳出	15,468	-	647	4.4
義務的経費	7,739	50.0	△ 77	△ 1.0
人件費	3,481	22.5	△ 32	△ 0.9
扶助費	2,058	13.3	45	2.2
公債費	2,200	14.2	△ 90	△ 3.9
投資的経費	1,040	6.7	-	-
普通建設事業費	1,007	6.5	△ 8	△ 0.8
うち補助	143	0.9	94	193.2
うち単独	721	4.7	△ 59	△ 7.5
その他の経費	6,690	43.2	-	-
うち繰出金	1,675	10.8	-	-

③主要指標(平成21年度)

<健全化判断基準>

実質赤字比率	-	% (13.35)
連結実質赤字比率	-	% (18.35)
実質公債費比率	15.0	% (25.0) [12.0]
将来負担比率	121.3	% (350.0) [86.6]

<普通会計に関する主な指標>

財政力指数(平成20年度～平成22年度)	0.666	[0.750]
経常収支比率	91.9	% [90.0]
標準財政規模(平成22年度)	10,094	百万円 [15,042]
地方債現在高(A)	15,781	百万円 [21,892]
債務負担行為支出予定額(B)	926	百万円 [2,972]
積立金現在高(C)	1,892	百万円 [4,557]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	14,815	百万円 [20,307]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成21年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	2,261,726 (33.6)	1,977,033 (33.7)	87.4
市町村民税・法人(構成比)	289,679 (4.3)	278,036 (4.7)	96.0
固定資産税(構成比)	3,509,218 (52.1)	2,987,526 (51.0)	85.1
市町村税合計(国保除く)	6,734,006	5,862,642	87.1

<公共施設整備状況>(平成21年度)

小学校	12校	プール	2か所
中学校	5校	児童館	0か所
幼稚園	6園	老人福祉施設	5か所
保育所	6か所	病院・診療所	20か所
図書館	1か所	道路改良率	42.64%
公営住宅	745戸	道路舗装率	54.10%
公民館等	8か所	上水道等普及率	95.52%
体育館	3か所	排水等処理率	48.78%

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
新病院建設事業	H21～25	医療環境を整え市民の生命・健康を守るため、老朽化、狭隘化が著しい市立総合病院を平成25年開院を目的に移転新築する。	1370(H23)
磯原中央街区公園等整備事業	H21～23	市民の憩いの場、また健康促進や防災機能など多目的に利用できる公園を整備する。また、観光振興の面から磯原駅東口に公衆トイレを整備する。	90(H23)
緊急雇用創出事業	H21～23	雇用環境の悪化を受け、国の制度を活用して失業者等を雇用する。特に重点分野雇用創造及び地域人材育成事業においては、就職未定新卒者に配慮した雇用創出を実施する。	243(H22)
小児自己負担市助成医療扶助事業	H23～	少子化対策及び子育て支援の一環として、小学3年生の児童までの医療費の一部自己負担金を助成することにより、医療費の無料化を実施する。(3歳未満乳幼児はH20～実施、3歳～未就学児はH21～実施)	19(H23)
子宮頸がん予防ワクチン等予防接種事業	H23～	細菌性髄膜炎及び子宮頸がんを予防するため、任意接種であるワクチン接種の無料化を実施する。(対象)・7歳等:3か月～5歳未満・子宮頸がん:中学生女子	51(H23)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・自主財源の確保
- ・行政改革、財政健全化施策の推進
- ・市立総合病院の経営改善
- ・小中学校適正規模、適正配置
- ・清掃センター施設更新

<特色ある行政>

- ・グリーンツーリズム

都市と農山漁村の交流を促進し、実践組織の育成とビジネス化を図る。

- ・ブルーツーリズム

漁業歴史資料館(平成19年5月1日オープン)が完成。漁業の歴史・文化を伝承し、情報発信と都市漁村交流事業の拠点として充実を図る。